



Governor's Message

人類が皆で同じ夢、同じ希望を分かち合うために

国際ロータリー第2750地区 2011-12年度 ガバナー 片倉 章雄



3月11日、東日本を未曾有の大震災が襲ってから4ヵ月近くが経ちましたが、その後に起きた東電の福島原発事故、政治の混乱などまさに国難としか言いようのない状況の中で新年度を迎えることになりました。このような時にこそロータリーの存在意義が問われることになろうかと思いますが、皆様のお力をお借りしながらこの1年を盛り上げていきたいと考えております。ご協力をよろしくお願いいたします。

私は1月16日から1週間、サンディエゴでガバナー研修を受けてまいりました。その研修の中で、2011-12年度のRI会長であるカルヤン・パネルジーさんは、「この中を見つめよう。博愛を広げるために」をRIテーマとして掲げられました。パネルジーさんはインドのご出身ですが、この東洋哲学的で慈愛に満ちたテーマは、私たち日本人の心には抵抗なく沁みこむような共感を覚えます。「深く自己を省みることによって、人類が皆、同じ夢、同じ希望、同じ願望、同じ問題を分かち合っていることを理解していただきたい」というパネルジー会長の言葉は、研修の2ヵ月後に起きた大震災で、その意味を私自身が身をもって感じることに

なりました。私は、この素晴らしいRIテーマを、第2750地区の年度テーマとして掲げ、皆さんと共に進んでまいります。

なお、昨年スタートした長期計画は①クラブのサポートと強化、②人道奉仕の重点化と増加、③公共イメージと認知度の向上、という3つの優先項目と、それぞれの目標として16項目が設定されており、今年度も引き続き進めてまいります。

なお、これはご報告になりますが、今回の東日本大震災に対する義援金は、日本全国のロータリークラブを合わせますと8億円を上回る金額となりました。第2750地区では第一次募集が約5,680万円、第2次募集が約2,870万円、合計すると約8,550万円でした。一人1万円を上回るご寄付をいただくことができました。私は、ロータリアンとしての本来の心を持つ皆様を、心強い仲間として誇りに思っています。しかし、大震災からの復興復旧はあと5年、10年と長期にわたって続くと思われれます。皆様からの浄財を被災地区のガバナーの要望を伺いながら効果的に使わせていただき、その結果を皆様にご報告したいと考えております。この場をお借りして、お礼とともに引き続きのご協力をお願い申し上げます。

地区重点目標

I. RIテーマとRI会長強調事項の推進

RIテーマ：

「この中を見つめよう 博愛を広げるために」
Reach Within to Embrace Humanity

RI強調事項： ①家族 ②継続 ③変化

II. 地区強調事項と重点目標

地区強調事項：

- ①クラブにおける長期計画の立案と推進
- ②職業奉仕の理念を基盤として五大奉仕活動の推進

III. 会員基盤の強化

会員維持増強 各クラブ1名以上の純増
クラブ拡大 地区として1クラブ以上の拡大

IV. ロータリー財団への支援

年次寄付

1人 100ドル以上

ポリオ・プラス指定寄付

1クラブ 1,000ドル以上

ベネファクター（恒久基金への寄付が1,000ドルに達する寄付者）

会員100名以上のクラブ 2名以上

会員99名以下のクラブ 1名以上

大口寄付者（ロータリー財団への寄付累計が10,000ドルに達する寄付者）
地区で5名以上

V. (財) ロータリー米山記念奨学会への支援

地区として、特別寄付と普通寄付を併せて8,000万円以上

INDEX

※ [3]～[12] は、地区ホームページ(Web)上に掲載しております。

<http://www.ri2750.org/>

- | | | |
|------------------------------------|----------------------------|------------------------------|
| [1] ガバナーメッセージ／地区重点目標 | [6] 千代田グループ／銀座・日本橋グループ活動通信 | [11] 会員基盤委員会／奉仕プログラム委員会 活動通信 |
| [2] ガバナープロフィール／新年度復興支援地区委員会の発足にあたり | [7] 京浜グループ／山の手東グループ 活動通信 | [12] R財団委員会／米山記念奨学会委員会 活動通信 |
| [3] 地区研修委員会／地区幹事「2011-12年度に向けて」 | [8] 山の手西グループ／多摩南グループ 活動通信 | [13] 寄付報告／文庫通信／物故 |
| [4] 地区幹事「2011-12年度に向けて」 | [9] 多摩中グループ／多摩東グループ 活動通信 | [14] 出席報告／編集後記 |
| [5] 地区行事日程 | [10] PBG 活動通信／広報委員会 活動通信 | |

2011-12年度 第2750地区 ガバナー 片倉章雄 プロフィール

生年月日 1929年10月14日

学 歴 1951年3月 成蹊大学政治経済学部卒業

職 歴 1960年5月 片倉興産株式会社監査役に就任
1967年6月 同社 取締役役に就任
1990年10月 同社 代表取締役役に就任
2000年5月 同社 取締役相談役に就任後、
現在に至る



ロータリー歴

1979年8月 東京日本橋ロータリー・クラブへ入会
1987-88年 クラブ国際奉仕委員長
1989-91年 クラブ会計
1991-92年 クラブ青少年奉仕委員長
1992-93年 クラブローターアクト委員長
1993-94年 地区副会計
1994-95年 クラブ広報委員長
1996-97年 クラブロータリー財団委員長
1998-99年 クラブ親睦委員長
1999-00年 クラブ奉仕委員長(会長エレクト)
2000-01年 クラブ会長
2002-03年 地区千代田グループ ガバナー補佐
2005-06年 地区社会奉仕委員長
2010-11年 ガバナー・エレクト

ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター
米山功労者(マルチプル)

新年度 復興支援地区委員会の発足にあたり

復興支援地区委員会 委員長 市川 伊三夫 (東京銀座RC)

去る3月11日の東日本大震災により、沢山の尊い命が失われました。又家財を喪失された多くの方が居られます。たとえようもないこの惨事に遭われた方々の悲しみの大きさを思い、涙と共に同情の念を今尚禁じえません。私達に出来ることは災害に遭われた皆様の悲しみ・苦しみを己のものとし、積極的な支援を続けることです。

片倉ガバナーは私を当期の復興支援地区委員長に任命されました。100年に1回といわれる災害の復興は容易ではありませんが、事態の深刻さを考えますと、私達に躊躇出来る余地はありません。

私は重い責任を真摯にうけとめ、地区全員の皆様のお力をえて努力したいと思って居ります。何卒よろしくご協力ご支援の程をお願いいたします。

復興には長い年月を要します。日本人は熱し易く、冷めやすい国民性とよく言われますが、それではいけないのです。嘗て池田勇人首相がオランダを訪れ、防潮堤を見学した時、過去3千年で最大なものでも大丈夫といわれ驚いたと帰国後伺ったことがあります。“欧州の人々の執念の強さに敬服した”といわれました。

私達はこの災害を忘れてはならない。これこそ災害を受けた人達への私達の友情です。どんなに長い年月かかろうが、災害に強い美しい国にしなければなりません。日本人も欧州の人々に負けない執念をもち、後続に伝えて行きましょう。さて問題はプライオリティです。政府・市町村・公共機関と連携し、私達の復興支援活動が効率的に且しっかり行われるよう災害地区の皆様と相談しつつ、行って行く所存です。

私はこの委員会は地区ロータリアンの全員が委員になるのが本来の姿だと思っています。皆様お気付きの点、ご提案等あれば遠慮なく事務局にご連絡下さい。よろしく願いいたします。



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

雨過ぎて竹重ねて青し

地区研修委員会 委員長〔研修リーダー〕市川 伊三夫(東京銀座RC)



私はロータリーに入会し何が一番有難かったか、自問することが屢々だが、その答えはいつ迄も年甲斐なく勉強せざるをえない点ではないかと思っています。勉強はわが脳を若々しくしてくれる。

片倉ガバナーの要請を受け、私は本年度 研修委員会 委員長を引き受けることとなり、既にガバナー補佐研修を皮切りに7つの研修プログラムを終了したばかりです。

内容については都度詳細な指示がRIから要請されてくるので、これを参加者に極力平易に判り易く説明出来るよう努力せねばなりません。

皆様にとっては自分がロータリーに入会した時より、近頃は何か面倒な規定・要請がふえたと不満に思われる方も多いと思います。

然し、これは時代が変わりつつあることに起因しています。この10年世界は激変を続けてやみません。文字通り刻一刻情勢は変化しています。10年前、中国・印度の大躍進がこれ程のスピードで眼前に現れるとは誰が想像したでしょう。激浪にもてあそばれ続ける日本は一体どこまで地位を下げれば済むのか。不確実な要素はふえ続けています。

私達世界のロータリアンは何がどうなろうと、世界から不幸をなくすため、奉仕を続けねばなりません。救えるものを手当たり次第救うことをやめてはならないのです。

その為には毎年与えられた任務を正しく認識し、あらためて強い責任感を持つ必要があるのです。お忙しい皆様に更に時間を割いて頂く結果になるのは申し訳なく思いますが、どうか私達と一緒にもう一度勉強してほしいのです。

冒頭の「雨過ぎて、竹重ねて青し」は私の好きな言葉です。雨は研修に外なりません。一緒に研修し、何ともいえない、今迄になかった深みのある青さ、魅力的な青さが身につく迄お互努めようではありませんか。

2011-12年度に向けて

地区幹事〔統括・地区大会〕間宮 健太郎(東京日本橋RC)



いよいよ片倉年度の幕あけであります。第2750地区に於いて服部禮次郎氏より32代目のガバナーで、東京日本橋RCより紫野 巖氏、小林禮次郎氏につぐ3人目のガバナーの誕生であります。

かえり見れば、当地区のピークは中村健次郎氏年度であり、クラブ数84、会員数6,237人、委員会数26でした。現在はクラブ数91、会員数4,682人、委員会数35で、会員が1,500人減少している中、委員会のみ増加しています。これはRIの要請及び地区の時限立法的委員会も有るので、一概には云えませんが、今年度も委員会の削減に心がけましたが、

思う様には参りませんでした。

又此のたびの東日本大震災に遭遇し、私どもロータリーもこの激変の時に従来通り、継続性と一貫性に拘ることなく、皆様の発想力を結集していきたいと思ひます。

人との繋がりを大切に、この一年間を乗り切る所存でございますので、ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

2011-12年度に向けて

地区幹事〔総務・月信〕 縄田 晴明（東京日本橋RC）



今年度の地区幹事（総務・月信）をつとめます、縄田晴明と申します。

ロータリー歴は10年になりますが今まで地区活動には殆ど関わってこなかった私に東京日本橋RCとして12年振りにガバナー

になられる片倉章雄エレクトからご指名があり、本当に自分にこの役目が務まるのか迷いがあったのですが、新しいことや知らないことはその場で学び吸収すれば良いと腹をくくりお引き受けした次第です。まずは地区の全体像を掴み各委員会活動を理解することから始めましたが、幸いなことに統括担当に地区の超ベテラン間宮健太郎 幹事がおられ、ことある毎にご指導を戴きながら何とかつとめてきております。

これからは片倉ガバナーが絶えず語っておられる「各クラブが楽しいクラブとして皆で奉仕と親睦に汗をかく」ということを実践していただけるようクラブと地区の間を繋ぐ役割をこの1年間精一杯努めて参りますのでよろしくお願い致します。

2011-12年度に向けて

地区幹事〔PBG・R財団〕 公望 聡史（東京日本橋）



2011-12年度はPBGとR財団を担当させていただきます。R財団関連では、震災の復興支援のための補助金の分配、2013年に実施が予定されている「未来の夢計画」の実現を目指しての準備等が優先課題になると思われます。

PBG関連では、PBG所属のクラブとガバナー事務所とのパイプ役となることが主要な役割と考えています。東京からみればPBGは言語も文化も違う外国であり、PBGの声はなかなか伝わってきません。しかし、PBGではなんとか第2750地区の一員として認められるべく熱心な努力を重ねています。PBGからの声に耳を傾けるだけでなく、これからはPBGに対し地区からも発信するようにしたいと思っています。また、在京会員の間で、PBGクラブでメイクアップする習慣を定着させることにより、人的交流を促進し、PBGの各クラブがより身近に感じられる存在となるよう努力したいと思っています。

2011-12年度に向けて

地区幹事〔総務・月信〕 品川 甲申（東京日本橋RC）



東京日本橋ロータリークラブより、地区委員として活動のお手伝いをするようになりました。地区活動については何も経験がありません。地区の活動をされている多くの経験豊かな地区役員の皆様の活動を見ておりますと、その運営に対しての大変さというものが初めて感じられました。クラブの活動を支援するのが地区の役目ということも理解できるようになりました。

地区協議会での片倉ガバナーの挨拶の中に、バネルジー会長の言葉が紹介されています。「人生における最も輝かしい瞬間は、実際に成功を収めたときでなく、先に待ち受けている功績をこころに描きながら、チャレンジに立ち向かうときだ。」どうですか。すばらしい言葉でしょう、と。

片倉ガバナーにやがて絶対に来るに違いない功績をこころに描きつつ、クラブの皆様を主役として、裏方で活動に努めてまいります。

2011-12年度に向けて

地区幹事〔会員基盤・研修〕 中野 陽一（東京たまがわRC）



地区幹事の大任をご下命いただきました。私の幹事としての担当は、「会員基盤委員会」と「研修」です。地区幹事は、片倉ガバナーのご指示をいただきその活動を補助し、円滑な地区運営をはかることを第一義としています。

ガバナー公式訪問は地区幹事団で分担してクラブへ訪問いたします。担当幹事として既に年度開始前の3つの主要な研修を終え、年度開始以後は、「会長・幹事会」をはじめとするセミナー、地区委員会等各種会合、の設営にあたります。

本年度は東日本大震災の発生により、クラブの支援活動を地区として応援する重要な役割も生じました。クラブ同士協力しての奉仕活動も積極的に推進していただきたいと存じますので、クラブからの様々なご要望についても配慮させていただきたいと存じます。

ご協力を宜しくお願い申し上げます。

2011-12年度 地区行事日程 (7-8-9月)

7月 1日 (金) 11:45 ~ 15:00	ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	グランドプリンスホテル高輪B1「プリンスルーム」
7月 4日 (月)	2011-12 ガバナー事務所開き	東京倶楽部
7月13日 (水) 16:00 ~ 20:00	第一回 会長・幹事会	ロイヤルパークホテル
7月14日 (木) 17:00 ~ 20:00	東京中央新RC創立10周年記念式典	マンダリン・オリエンタル東京
7月17日 (日) 9:00 ~ 15:30	青少年交換第1次選考試験	オリンピック青少年センター
7月24日 (日) 8:30 ~ 16:30	青少年交換第2次選考試験	オリンピック青少年センター
7月25日 (月) 15:00 ~ 17:00	第一回 復興支援地区委員会会議	三基商事東京支店第2ビル
7月26日 (火)	ガバナー公式訪問 (日本橋・日本橋西)	ロイヤルパークホテル
7月27日 (水) 17:30 ~ 19:00	米山委員長セミナー	ヒルトン東京ホテル
7月29日 (金)	ガバナー公式訪問 (大崎・白金)	
7月30日 (土)	ガバナー公式訪問 (米山友愛)	ホテルニューオータニ
8月 2日 (火)	ガバナー公式訪問 (大井・京浜・高輪)	
8月 4日 (木)	ガバナー公式訪問 (品川・港南・マリーン)	
8月 6日 (土)	2011-12 インターアクト地区年次大会 (ホスト:品川女子学院IAC)	国立オリンピック記念青少年総合センター
8月23日 (火)	ガバナー公式訪問 (田園調布緑・蒲田)	
8月25日 (木) 15:00 ~ 17:00	第二回 復興支援地区委員会会議	三基商事東京支店第2ビル
8月26日 (金)	青少年交換サマーキャンプ	大乘淑徳学園
8月27日 (土)	青少年交換サマーキャンプ	大乘淑徳学園
8月28日 (日)	青少年交換サマーキャンプ	大乘淑徳学園
8月29日 (月)	青少年交換サマーキャンプ	大乘淑徳学園
8月27日 (土) 18:00 ~ 20:30	米山夏の懇親会	明治記念館
8月29日 (月)	ガバナー公式訪問 (iシティ) (夜)	
8月30日 (火)	ガバナー公式訪問 (世田谷中央・世田谷)	
9月 1日 (木)	ガバナー公式訪問 (調布むらさき・調布)	
9月 2日 (金)	第11回 日韓親善会議 (中止) ◀中止	グランドプリンスホテル新高輪
9月 3日 (土)	第11回 日韓親善会議 (中止) ◀中止	グランドプリンスホテル新高輪
9月 4日 (日) 13:30 ~ 20:00	青少年交換帰国報告会、来日歓迎、合格所授与式、懇親会	オリンピック青少年センター
9月 5日 (月)	ガバナー公式訪問 (渋谷)	
9月 6日 (火)	ガバナー公式訪問 (恵比寿・神宮)	
9月 9日 (金)	ガバナー公式訪問 (西)	
9月12日 (月)	ガバナー公式訪問 (六本木)	
9月13日 (火)	ガバナー公式訪問 (三鷹・井の頭)	
9月14日 (水)	ガバナー公式訪問 (芝・みなと)	
9月15日 (木)	ガバナー公式訪問 (自由が丘) (夜)	
9月17日 (土)	第8回 RYLAセミナー	府中市生涯学習センター
9月18日 (日)	第8回 RYLAセミナー	府中市生涯学習センター
9月19日 (月)	第8回 RYLAセミナー	府中市生涯学習センター
9月21日 (水) 15:00 ~ 17:00	地区役員会	ガバナー事務所
9月22日 (木)	ガバナー公式訪問 (広尾)	
9月27日 (火)	ガバナー公式訪問 (新橋・レインボー)	
9月29日 (木)	ガバナー公式訪問 (成城新・成城)	
9月30日 (金)	ガバナー公式訪問 (立川・立川こぶし)	

※東日本大震災の影響で、中止となっている行事がありますので、ご注意ください。
※上記の地区行事日程は変更する場合がございます。予め事前にご確認の上、ご参加下さい。

千代田グループ

片倉年度 2011－12年度に向けて

千代田グループ ガバナー補佐 大西 紀男（東京南RC）



昨年、片倉ガバナー・エレクト（当時）より、光栄にもガバナー補佐就任の打診を頂き、クラブ先輩にご相談した所「勉強してきなさい」との事で、不肖の身ではありますが、お引き受けした次第です。

RI会長のテーマ、「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」とは、①まず、自分自身を見つめ直す ②次に、自身の家族の絆を深める。次に家族の外、地域へ、更に地域から国へ世界へと博愛を広げる ③今やっている善なる事を継続する事 ④そして、社会の変化に対し、今継続してやっている事を改善していく事と解説を伺いました。

RI会長はインドご出身の方で、東洋的な深い思想をお持ちの方と感じました。

又、片倉ガバナーは、昨年8月より12月迄、毎月一回ガバナー補佐研修会を催され、本年よりは各委員長を含めたチーム準備会合を入念に実施されました。その中で片倉ガバナーに感じた事は、①「温厚で思いやりが深く、思慮深い高潔な人格を有されるお方」 ②「人生を積極的に楽しまれるお方」であります。

ガバナーのご方針は「ロータリーは楽しくなければならぬ」「そして、力まずに積極的に活動しよう」という事ではないかと受け止めておりますし、インドご出身のRI会長のテーマとベースで共通するものがある様に感じます。

ガバナー補佐の役割は、ガバナーの率いる地区活動の推進と、各クラブとの架け橋ではないかと存じますので、微力乍ら、精一杯努力し、その責を全う致す所存ですので、何卒皆様のご指導ご支援をお願い申し上げます。

銀座・日本橋グループ

2011－12年度に向けて

銀座・日本橋グループ ガバナー補佐 平野 熙幸（東京日本橋東RC）



「人生意気に感ず」とは古い諺ですが、まさに片倉ガバナーに従って、この銀座・日本橋グループのガバナー補佐の任を拝命しました動機は、一に片倉さんのロータリーに懸ける熱意・情熱の意気に揺り動かされことにあります。28年にも及ぶ、決して短くない我が身のロータリーライフの中で、尊敬するスポーツマン片倉さんの聲咳に接したことが、ロータリーの人と人の絆というか、今日この立場に付くこととなりました。

以前、ある年度のガバナー補佐にというお薦めを片倉さんからお受けした際に、…もし、片倉さんがガバナーをお受けになるようなときには、諸手をあげてお手伝いをさせて頂きますよ…と申し上げてお断りした覚えがあります。もちろん当時は私どものクラブでガバナー補佐という大役をお受けするのは、荷が重過ぎるということもありました。

しかし、それから数年をすぎ、まさかと思っていた片倉さんがガバナーをお受けになったと聞き、その当時の私との約束をしっかりと記憶されておられ、今更男同士の約束を反古にするわけにはいかなかったというのが、正直な気持ちであります。

片倉ガバナーのロータリーに対する愛と情熱に動かされ、まさに「意気に感ず」の精神でこの年度に向かって突き進む覚悟です。今日にロータリーのあり方も、一つの限界に達し言葉と規模、テクニックに踊らされ、純粹に奉仕を志し、親睦の輪を広げようという理念から遠くなっている気がします。RIやガバナー会からの指示される事項やマニュアルを、金科玉条の如く鵜呑みにしないで、規模の大小はあれ銀座・日本橋グループのそれぞれのクラブの中で、純粹に消化し各クラブに即したものに生かすべきだと思います。

片倉ガバナーもその点では、「意気に感じて」いただけると信じます。まさに今、日本は未曾有の東日本大震災から立ち直って再建していかなければなりません。この時こそ、カルヤン・パネルジー会長の『こころの中を見つめよう、博愛を広げるために』という言葉をかみしめて、どうかこの一年が実りある豊かな心をはぐくむ一年でありますよう祈ります。

京浜グループ

2011-12年度に向けて ～京浜グループより～

京浜グループ ガバナー補佐 村口 正（東京白金RC）



会長エレクト、研修セミナーを3月2日に修め、次年度に向けて踏み出した矢先に起こった東北大震災は、各クラブの活動方針にも大きな影響を与えたことでしょう。

そんな時期に開催された、京浜グループの会長・幹事エレクト、クラブ協議会では、東北一帯の壊滅的被害に対し、クラブとして、ロータリーとして「何かせねばならない」連帯感を募らせ、今後の支援のあり方について論議する場となった。

京浜14クラブが結集し、一体となれば、ロータリーの精神を世間に知らしめる奉仕活動ができるのではないかと、寄付金の額を競うものでなく、ロータリーの精神を行動で知らしめる奉仕活動（チャリティーなど募金運動等）を長期的に継続、ロータリーのイメージアップを図るとともに、会員増強にも寄与するような広報的寄付を行うことが肝要であると決議された。上記趣旨に添い、「東北大震災復興支援ロータリー京浜委員会」を、14クラブ合意のもと立ち上げるようになった。しかし、ガバナー会、地区辰野年度での義援金の方針が未確認であること、また片倉年度では、大地震復興支援委員会が設立されるので、今後の方針によっては、京浜グループも歩調を合わせ、全体的協力支援に加担していくことになるでしょう。

2011-12年度は、東北大震災復興のための支援活動が焦点となる。が、RI方針の根幹をなすRI財団への寄付増進、日本ロータリーの象徴となっている、米山記念奨学財団への寄付増進に影響を与えるものであってはならないと思考します。よって義援金の資金源はチャリティーからの捻出、一般からの募金、各クラブ独自の奉仕プログラムを東北支援金に役立てるよう要請して頂くことも一案と思います。

山の手東グループ

2011-12年度に向けて

山の手東グループ ガバナー補佐 服部 陽子（東京広尾RC）



片倉ガバナーより山の手東グループのガバナー補佐のお話をいただきました時はまだまだ先のこのように思っておりましたが、

あつという間に片倉年度の幕開けとなりました。前年度は、地区幹事とうお役目でガバナーのお手伝いをさせていただいておりましたが、今年度はガバナー補佐というお役目をいただき、一つのグループを担当する形でガバナーのお手伝いをさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

次年度のRIテーマは「こころの中をみつめよう、博愛を広げるために」と発表されました。英語では Reach Within to Embrace Humanity ですが、片倉ガバナーのガバナー補佐を務めさせていただくにあたり、私は Reach Katakura をまず実践したいと思います。片倉ガバナーを見つめ、お考えをよく伺い、十分に理解した上で、それをグループ内のクラブの皆様にお伝えして参りたいと思います。そして、そのご方針、ご意向をお伝えする中で、片倉ガバナーの誠実でおやさしい、温かいお人柄と一緒にクラブの皆様にお伝えし、和やかな中にも意義あるロータリー活動を進めるお手伝いができればと思っております。

ロータリーで女性ロータリアンの占める割合は日本全国で約4%、第2750地区ではその倍に当たる8%と聞いております。山の手東グループは次年度、10クラブ中、4クラブの会長が女性ロータリアンですので、これは山の手東グループの一つの特色となるのではないかと思います。山の手東グループは、それぞれのクラブが素晴らしい個性を持つ10クラブの集合体です。それぞれのクラブがまずクラブとしてよい結束をなし、その上でクラブを超えた交流もグループ内で深めていきたいと考えております。東北の復興、福島原発問題など大変な時代ではありますが、そういう時こそ皆で心をついに奉仕の理想に向けて邁進し、ロータリー活動を心から楽しめる1年になるよう努めてまいりたいと思います。

山の手西グループ

2011-12年度に向けて

山の手西グループ ガバナー補佐 関 博子（東京世田谷中央RC）



山の手西グループは現在11クラブ合計459名(2011年4月末)の会員が在籍しております。一番古いクラブは東京世田谷RCで来年50周年を迎え新しいクラブは昨年出来ました東京米山友愛RCと50年の歴史の中に会員がおります。他のグループには無い若い世代そして多国籍(9カ国)で構成されております新クラブと共に、ロータリーの歴史に鑑みながら伝統を守りつつ活気ある活動をしていく所存です。家族に例えるなら祖父・父・子どもと3世代が一緒に活動をすると言った理想的な環境に恵まれております。

RI会長カルヤン・パネルジーさんのテーマにもありますように『心の中をみつめよう博愛を広げる為に』を山の手西グループとしては 老若男女混成の中和気藹藹とした活動をしてまいります。

すでに片倉年度会長・幹事会も5回開催され準備万端ですが各クラブ会長さんからも楽しい活動をしていきたいと言うお考えで一致しております。親睦と奉仕の精神のもと各クラブ間の情報交換を行いつつ、片倉ガバナーの御指導を受け山の手西グループが一つになって船出が出来ます事を願っております。

ガバナー補佐の任務でもありますガバナーと各クラブの懸け橋となれますよう一年勤めてまいりたいと思います。

若輩でございますが 是非 皆様のご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

多摩南グループ

2011-12年度に向けて

多摩南グループ ガバナー補佐 井上 直行（東京町田サルビアRC）



私は次年度、多摩南グループのガバナー補佐を務めさせていただきます、東京町田サルビアRCの井上直行と申します。

私共の多摩南グループは、八王子市、日野市、町田市の3市を有するグループです。3市は共に緑豊かな清流に恵まれた田園都市です。人口は合わせて114万、東京都の人口の約10%に値する地域で、人口もまだ増え続けております。

又、3市の多摩南グループは、八王子5クラブ、日野2クラブ、町田4クラブの11クラブ、450名の会員を擁し、過去に矢野、村野、坂本の3人のガバナーが多摩南グループから出られており、過去にも輝かしい実績を奉仕事業において取り組んで参りました。身の引き締まる思いでございます。

次年度、片倉ガバナーのもと、RI会長テーマ「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」の中で、ガバナー補佐としてのスタンス、立場がどこにあるのか、グループ協議会にて地区の情報を知る、各クラブの協議会の内容をガバナーに報告する、そして公式訪問を成功させる事等を念頭にいれながら、次席に望み前向きに進んでいきたいと考えております。ロータリークラブは奉仕活動を通して共に汗をかき、親睦を通して友情を深め、そしてロータリーを知る事によって、ロータリーのすばらしさを認識する事ではないでしょうか。

又、これから各クラブの訪問に際しても、各クラブに教えて頂きながら、発見する事、努力する事、継続する事、変革する事、成果をあげて結果を出す事を分かちあいながら、共に学び、ロータリアンとして、職業を通しての心の奉仕とは何かを楽しみながら、次年度に向けて進んで参りたいと思いますので、御指導御協力、宜しくお願い申し上げます。

多摩中グループ

2011-12年度に向けて

多摩中グループ ガバナー補佐 藤波 瑋光（東京国立白うめRC）



2011-12年度 多摩中グループのガバナー補佐を務める事になりました東京国立白うめロータリークラブの藤波です。当クラブは、多摩中12クラブの中で最少の会員数です。スポンサー・クラブの東京国立RCの名誉の為にも今年度は出番が廻ってまいりました。皆様のご協力の程、よろしくお願い致します。

さて、これから一年多摩中グループの為に何が出来るか、ロータリー歴15年の体験で得た事といえば、“人を変える事は出来ないが 自分を変える事が出来る”と言われております。15年前の自分が変わった事に気づきます。そして人生想定外の事が起こるものです。

今回の大震災についても日本が変わる、ロータリーも変わる、そんな節目の年度だと思えます。ロータリアンが一丸となって、ピンチをチャンスに変えられるか！

まさに今年度のRI会長のテーマ“こころの中をみつめよう 博愛を広げるために”を実践していきたいと願っております。その為にも、12クラブの交流(合同例会)を増やして行きましょう。

最後にロータリーは、A・T・M（明るく、楽しく、前向きに）を合言葉に一年間ご指導の程、よろしくお願い致します。

多摩東グループ

2011-12年度に向けて

多摩東グループ ガバナー補佐 篠塚 武雄（東京多摩RC）



本年度の多摩東グループガバナー補佐を務めることになりました。この一年間グループの皆様と一緒に楽しいロータリーライフをすごせるように努力します。よろしくお願い致します。

3月11日の東日本大震災では、大勢の方がお亡くなりました、ご冥福をお祈りします。また被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。

東日本大震災によりRI強調事項、家族、継続、変化が今の日本にもっとも求められる言葉になりました。地区強調事項は長期計画の立案、職業奉仕の理念、今年度より五大奉仕活動となった新世代奉仕の推進。何年か前まではロータリークラブは単年度主義でした。長期計画はクラブが会員増強するためにも、また地域に密着した事業を継続するためにも長期計画あってこそ地域社会に認められます。いろいろなことが新しい時代に入っています。

しかし今最も大切なのは会員基盤の強化ではないでしょうか。会員増強はロータリークラブの命ではないか、奉仕事業、親睦、を推進するにも会員の大勢の参加が必用です。我がクラブも含めてグループ全体に会員増強に力を注いでもらい、奉仕事業のより充実を図り、より楽しいクラブづくりをし、親睦を図ってもらいたいと思っています。今年度は6回のグループ協議会と2回の勉強会を行います。会員増強セミナーとリーダーシップを課題にしたいと考えています。

多摩東グループは現在9クラブですが、いま進行中の東京稲城RCによる拡大によって新クラブが誕生し、6月に創立総会が行われ、また11月にはチャーターナイトが行われる予定です。

ロータリークラブが会員増強と拡大によって人道的支援や認知度アップになり、より多くの奉仕活動できるようになります。片倉年度より、若年会員への配慮から、35歳未満の会員は地区人頭賦課金が半額になりました。経験多い会員も大切ですが、行動を起こし、実行していくには若い会員が必要です。知恵と力、新しい発想を引き出せると思います。今年度も研修会、ゴルフ大会と、グループが楽しめるよう努力します。

皆様のご指導とご協力よろしくお願い致します。

PB グループ

2011-12年度に向けて

PBGガバナー補佐 Cindy S Mori (Rotary Club of Truk Lagoon)



RI2750地区及びPBグループにとって、2011-12年度は特別な年度になります。第2750地区は、東北地方に壊滅的被害をもたらした地震とその後の津波の影響に対応することになります。PBGは第2750地区の一員として、北日本の再生を目指すロータリー委員会の片倉委員長を補助、支援します。RIあるいは他のチャンネルを通じて、日本への支援活動に寄付をする必要があることも強調します。

今年度のRIのテーマである、「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」を人道プロジェクトに採用することで、我々の身近にある地域を見つめながら、その中でもっとも深刻で緊迫した事態を把握し、そこに支援プロジェクトを集中させなくてはなりません。私達はすべての人々が威厳をもてるよう、貧困や飢餓、学力不足、不衛生な状態を撲滅する戦いに挑み、支援します。私達はロータリアンとしての人道的理想をもって生きなくてはなりません。先の2011年PETSにて討議された方針に沿って、永年の友人でパスト・ガバナー補佐の御手洗美智子さんとともに、2012年タイ国で開催される世界大会にPBG派遣団の参加を実現させ、他のロータリークラブとの交流を深めながら、いろいろ学ぶ機会にすることを考えています。

今年度は、各クラブの役員とともに会員の数だけではなく、質の向上を目指すことも重要な目標とします。我々ロータリアンはそれぞれが自らの役割、責任を自覚することで、効率のいい、地域社会への貢献が実現できるものと思います。

広報委員会

2011-12年度に向けて

広報委員会 委員長 岡 常吉 (東京日本橋RC)



去る5月18日開催の地区協議会に向けて、第2750地区全てのロータリークラブを対象に広報活動のアンケート調査を実施致しました。それぞれのクラブに於ける広報活動にとどまらず、地区としてまとまった形の広報活動が必要で、意義のある活動を為すべきという一定の方向性が確認できました。具体的には、各クラブのイベント等で使用できるような大型ポスターを作製し、配布することを検討中です。

従来行ってきた広報活動である東京マラソンに対する給水ボランティア活動については、給水場所が制限される等縮小の方向にありますので、今後は参加の方法を変更せざるを得ない状況になっております。それに代わる広報活動として養蜂の普及・指導を起案致しましたが、地区協議会・委員会に於いて都市型過ぎる等のご指摘を受け、再検討せざるを得ない状況となりました。しかしながら、環境問題を考える上で大変わかりやすい養蜂というものにご興味のあるクラブがありましたら、卓話や出前授業をお受け致しますのでどうぞ地区広報までお問い合わせください。

尚、此度の東日本大震災の支援策として「3・11レインボー・リボンバッジ」を企画作成し、震災復興支援委員会に委ねました。近々皆様のお手元に届くと思います。3・11を忘れない、支援を続けていくという意思表示が込められたものでございます。

会員基盤委員会

2011-12年度に向けて

会員基盤委員会 委員長 中島 康裕（東京中央RC）



今年度、地区会員基盤委員会の構成は、会員増強・クラブ拡大委員会、ロータリー情報委員会、ロータリー親睦活動委員会の3委員会です。

これらの委員会は、会員基盤の維持、強化とクラブの充実、活性化に向け積極的に活動を支援してまいります。

会員増強・クラブ拡大委員会 委員長 石井義興（東京恵比寿RC）：クラブにおける会員数の減少は、取り組むべき最優先の課題です。クラブは、長期的視野にたって会員増強、維持計画を立案し、具体的な数値目標に向け全員参加で実行することが重要です。又、新クラブの結成による拡大にも挑戦してまいります。

ロータリー情報委員会 委員長 中村 孝（東京品川中央RC）：ロータリーの基本を理解するために必要な情報をはじめ、RI理事会の決定事項、RIの長期計画などクラブにとって有益な情報をリアルタイムに提供し、クラブの諸計画の充実と活性化の一助といたしたい。

ロータリー親睦活動委員会 委員長 野上征利（東京城南RC）：「クラブを超えた親睦」をキーワードに、新しい友人を作り、新しい奉仕の機会を得るような出会いを積極的に作ってゆきたい。そのためクラブ間の親睦活動の支援、趣味の交流会など、委員会の活動について周知徹底を図りたい。

以上、3つの委員会の活動を通じて、会員組織の維持、開発、勧誘という本来の会員増強に取り組む体制を整備し、強固な会員基盤を築き魅力ある、活気溢れるクラブづくりのために、地区がチーム一体となって緊密な連携により、目標達成に邁進してまいります。

そのために、各ガバナー補佐、グループ幹事、地区常設委員会（広報委員会、奉仕プログラム委員会、ロータリー財団委員会、米山記念奨学委員会）の皆様のご支援ご協力をお願い致します。

最後に、本年度は東日本大震災後の情勢を踏まえ、震災復興支援などの対応を念頭に置きながら委員会活動を行ってまいります。

奉仕プログラム委員会

2011-12年度に向けて

奉仕プログラム委員会 委員長 福井 衛（東京武蔵府中RC）



2010年度版 手続要覧の推奨ロータリークラブ細則によれば、クラブは常設委員会として奉仕プロジェクト委員会を設置することが推奨され、この委員会の役割は「地元地域社会および他国の地域社会におけるニーズに応える教育的、人道的、および職業関係のプロジェクトを立案し、実施するものである」と定義されています。平たく言えばクラブの奉仕プロジェクト委員会は、ロータリーの5大奉仕のうちクラブ奉仕を除くすべての分野、即ち、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕の各奉仕をバランス良く、そしてクラブが所在する地域での活動はもちろんのこと、国、世界という広い範囲での活動も視野にいて効果的な奉仕プロジェクトを実施するための重要な委員会です。

一方、このようなクラブ奉仕プロジェクト委員会の活動を様々な観点で側面から支援するのが地区奉仕プログラム委員会の役割です。本年度は、前記各奉仕分野ごとに経験豊かな方を部門委員長に、また各部門の小委員会も、その分野に精通したベテランの方に委員長をお願いすることができました。地区奉仕プログラム委員会としての活動基本方針は次の通りです。

- ①クラブの奉仕活動の支援を第一とし、地区主体の奉仕プロジェクトは立ち上げない。
- ②各奉仕分野の活動においてクラブが問題としているのは何かを把握するとともに、その問題を解決するためには、地区委員会としてはどのような支援をするべきか？
- ③各クラブの奉仕プロジェクト活度の情報を収集のうえ、地区内クラブに適宜報知する。
- ④複数の奉仕部門に当てはまるプロジェクトやクラブ合同奉仕プロジェクトを推奨する。
- ⑤RIやロータリー財団のプログラムの活用をクラブに推奨する。

クラブの皆様にはどうかこの1年、地区奉仕プログラム部門の各委員会活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ロータリー財団委員会 活動通信

2011-12年度に向けて

ロータリー財団委員会 委員長 鈴木 義明（東京武蔵国分寺RC）



2011-12年度の幕開けは、東日本大地震復興に向け、各クラブの皆様は、ロータリーの奉仕と友情を大きく広げる事と思います。

第2750地区では、此の震災復興に向かって、昨年度より大幅に人道的支援プログラム「マッチング・グラント」の予算を準備させて戴きましたので、多くのクラブの皆様に参加して戴きたくお願い申し上げます。

さて、ロータリー財団は、2017年に創立100周年を迎えようとしています。ロータリーの奉仕は、2013-14年度に向け大きくプログラムが変わろうとしています。この新しく変わる名称は「Future Vision Plan / FV / 未来の夢計画」と呼ばれています。今年度は、二年後に展開するFVに対する取り組み計画と従来通りのプログラムと二つの課題をテーマに、48名の委員とクラブの皆様と伴に邁進して行きたいと思ひます。今年度は、昨年度以上に財団プログラムへの参加を強く広報させて頂いております。此れは、2013年にスタートする冒頭で掲げたFVを睨んでのことで、クラブの皆様には、大きく変革する前に身近にある財団プログラムに慣れ親しんで頂きたいからです。では、FVとは… 1. 財団の使命に沿って、プログラムと運営を簡素化する。 2. ロータリアンが関心を寄せている世界の優先的ニーズに取り組む事によって、最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞る。 3. 世界的目標と地元の目標の両方を果すための資金を提供する。 4. 意思決定権をさらに地区とクラブに移行する事によって、地区レベルとクラブレベルでロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること。 5. ロータリー財団の活動に対する理解を深めロータリーの公共イメージを高めること。以上5つの目的でロータリー財団は大きく変革いたします。此の変化に多少の迷いが生じるかもしれませんが、委員会一同、クラブの皆様をスムーズに移行出来る準備の年にしていききたいと思ひます。

米山記念奨学委員会

2011-12年度に向けて

米山記念奨学委員会 委員長 松本 啓祐（東京八王子RC）



ロータリーの新しい動きの一つは米山奨学事業だろう。学友のネットワークは世界に広がり、このたびの東日本大震災に際してもいち早く各国から義援金が寄せられた。米山学友を中心に、当地区に東京米山友愛ロータリークラブが結成されたことも記憶に新しい。学生と学友、そしてロータリアンのネットワークは、ロータリーに新たな活力をもたらそうとしている。

ロータリアン諸兄とともに、この米山奨学事業の発展に尽力したい。正しい相互理解が如何に重要かということ、この大震災で感じた人は多いのではないだろうか。国際理解において米山奨学生が果たす役割は小さくないだろう。体験に裏打ちされた思索が真の理解と友情へつながる事例を米山奨学生と学友の何人かに見いだすことは決して困難ではない。「どんな状況におかれても、米山奨学生としての責務を果たしたい。」という一人の小柄な女子留学生の言葉を時々思い出す。

不可能ということはある、しかし、全力をあげて努力することが道を切り開くといえよう。アメリカ臨床催眠学会創始者のミルトン・エリクソンはポリオ・色覚異常・失音楽症で17歳の時には目を除いて全身が麻痺したが、赤ん坊の歩き方の過程や家族をつぶさに観察し、必死の努力で歩くことが出来るようになったばかりか、精神病理学の世界を大きく前に進めたことで知られる。ミルトン・エリクソンならぬ私達も、奨学生を育て、より良い世界へと向かうために、いささかの努力をしようではないか。

米山功労者ご紹介

ご協力を感謝いたします

■ 米山功労者

加藤 節夫君	東京品川	2011.5.11	5
椎名 芳子君	東京品川	2011.5.11	1
中山 貴樹君	東京品川	2011.5.11	1
松崎 宗仁君	東京銀座	2011.5.19	1
鳥飼 重和君	東京日本橋	2011.5.19	4
井本 八郎君	東京品川	2011.5.23	8
大藤 稔君	東京品川	2011.5.23	1
野口 寿雄君	東京日本橋東	2011.5.25	5
山内 宏一君	東京日本橋東	2011.5.25	2
北村 浩志君	東京新橋	2011.5.26	1
大谷 隼夫君	東京西	2011.5.30	1
村 滋君	東京城南	2011.5.30	11
森 和昭君	東京銀座新	2011.5.31	4

ポール・ハリス・フェローご紹介

◎はマルチプル
ご協力を感謝いたします

◎ 五老 辰雄君	東京三鷹	2011.5.6
◎ 穂東 道徳君	東京三鷹	2011.5.6
◎ 松崎 正司君	東京三鷹	2011.5.6
◎ 穴戸 幸四郎君	東京三鷹	2011.5.6

新ベネファクターご紹介

ご協力を感謝いたします

加藤 高白君	東京八王子北	2011.5.13
湧井 恭行君	東京日本橋東	2011.5.27

文庫通信 (285号)

ロータリー
文庫

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー文献より

◎ 「ドイツの『ROTARY MAGAZIN』と『ロータリーの友』」

織田吉郎 2011 1p (D. 2790月信)

◎ 「日本人の奉仕の心」

延原 正 2011 2p (D. 2690地区大会記念誌)

◎ 「『ロータリーの心と原点』—基本に返ろう」

廣畑富雄 2011 3p (D. 2690地区大会記念誌)

◎ 「識字率向上が意味するもの」

小林完治 2011 1p (D. 2690月信)

◎ 「CLP導入の現状とクラブ活性化計画」

川岸洋一 2011 2p (D. 2510月信)

◎ 「ロータリーの曙」

田中 毅 2011 4p (米山梅吉記念館館報)

◎ 「新世代育成」

片山主水 2010 4p (奉仕の理想—ロータリーの心と形)

◎ 「一以って貫く」

菅 正明 2010 8p (論語でロータリー)

上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp

開館

午前10時～午後5時

休館

土日・祝祭日

深く哀悼の意を表し御冥福を祈ります



山口 榮一 (東京南RC)

2011年4月19日逝去 (享年99歳)
1957年4月9日入会
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者



小堀 宗慶 (東京南RC)

2011年4月24日逝去 (享年88歳)
1979年1月4日入会
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者



小川 恵也 (東京南RC)

2011年4月29日逝去 (享年94歳)
1970年12月3日入会
ポール・ハリス・フェロー



松本 順一 (東京日本橋RC)

2011年5月20日逝去 (享年63歳)
2008年1月22日入会



東 雅之 (東京武蔵府中RC)

2011年5月22日逝去 (享年57歳)
2007年7月6日入会
米山功労者



永谷 博 (東京羽田RC)

2011年5月26日逝去 (享年81歳)
1968年5月15日 入会
1971-72年 クラブ幹事
1981-82年 クラブ会長
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者 (3回)



庄子 實 (東京大井RC)

2011年5月31日逝去 (享年80歳)
1990年12月4日入会
1998-99年度 クラブ会長
ポール・ハリス・フェロー (マルチプル3回)
ベネファクター
米山功労者 (マルチプル3回)



木村 久彌 (東京日本橋東RC)

2011年6月10日逝去 (享年79歳)
1995年9月18日入会
2007-08年度 第39代クラブ会長
ポール・ハリス・フェロー (6回)
ベネファクター 米山功労者 (7回)

★国際ロータリー第2750地区出席報告 (5月分)★ District 2750 Membership Attendance Report May 2011

区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数			区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数		
				10年7月1日	11年5月末	増減					10年7月1日	11年5月末	増減
千代田グループ	東 京 南	3	71.55	178	188	10	多摩南グループ	東 京 八 王 子	3	87.86	59	58	-1
	東 京 芝	3	91.90	95	95	0		東 京 町 田	3	70.39	56	55	-1
	東 京 新 橋	4	71.56	51	54	3		東 京 日 野	3	80.90	36	35	-1
	東 京 赤 坂	3	81.00	48	48	0		東 京 八 王 子 西	4	87.09	71	73	2
	東 京 み な と	4	84.43	48	53	5		東 京 町 田 ・ 中	4	76.90	38	38	0
	東京レインボー	3	74.04	39	34	-5		東 京 八 王 子 東	4	84.84	25	22	-3
銀座・日本橋グループ	東 京 麻 布	3	77.10	22	22	0	多摩中グループ	東 京 八 王 子 南	3	85.53	53	55	2
	東 京 銀 座	3	77.40	158	160	2		東京町田サルビア	3	78.65	24	22	-2
	東 京 日 本 橋	4	78.44	180	182	2		東 京 飛 火 野	4	74.10	30	28	-2
	東 京 築 地	4	81.91	64	73	9		東 京 町 田 東	3	81.33	25	26	1
	東京日本橋東	4	82.14	52	49	-3		東 京 八 王 子 北	4	80.00	33	37	4
	東 京 中 央	3	77.20	238	231	-7	多摩東グループ	東 京 立 川	3	98.52	97	99	2
京浜グループ	東京日本橋西	3	85.96	44	45	1		東 京 小 金 井	3	94.95	30	33	3
	東 京 銀 座 新	3	75.19	69	75	6		東 京 国 分 寺	4	93.95	43	42	-1
	東京シティ日本橋	3	71.85	49	49	0		東 京 三 鷹	4	86.70	41	40	-1
	東 京 中 央 新	4	72.50	38	41	3		東 京 昭 島	3	80.01	53	52	-1
	東 京 羽 田	3	75.40	43	45	2		東 京 国 立	3	96.29	50	51	1
	東 京 品 川	3	84.39	62	58	-4	多摩北グループ	東京立川こぶし	4	83.13	79	81	2
山の手東グループ	東 京 大 森	3	92.08	49	48	-1		東 京 井 の 頭	4	83.30	24	24	0
	東 京 品 川 中 央	3	80.11	58	57	-1		東京昭島中央	2	82.00	42	43	1
	東 京 大 井	3	70.17	18	19	1		東京武蔵国分寺	3	85.00	47	49	2
	東京田園調布	3	80.47	45	47	2		東京小金井さくら	3	81.94	23	24	1
	東 京 港 南	3	64.71	18	18	0		東京国立白うめ	4	87.36	17	22	5
	東 京 大 崎	4	87.47	38	33	-5	バングラデシュ・パシフィック・グループ	東 京 府 中	3	81.58	61	62	1
山の手西グループ	東 京 蒲 田	4	94.69	62	64	2		東 京 調 布	4	88.11	61	61	0
	東 京 京 浜	2	78.56	23	22	-1		東 京 多 摩	4	92.03	22	26	4
	東京田園調布緑	3	85.22	25	26	1		東 京 狛 江	4	94.70	30	29	-1
	東京マリーン	3	71.79	17	14	-3		東 京 稲 城	3	79.74	30	33	3
	東 京 白 金	4	84.30	28	27	-1		東京武蔵府中	2	84.96	57	55	-2
	東 京 高 輪	2	82.37	25	26	1		東京たまがわ	3	71.79	26	26	0
山の手東グループ	東 京 西	3	71.00	151	157	6	国内83クラブ計	東京多摩グリーン	3	77.18	36	36	0
	東 京 城 西	3	65.19	77	76	-1		東京調布むらさき	3	84.06	82	81	-1
	東京西南	4	89.42	52	50	-2		Guam	4	60.00	66	69	3
	東京原宿	3	70.67	26	25	-1		Saipan	5	68.84	39	43	4
	東京杉並	3	73.74	40	42	2		Tumon Bay	5	41.59	88	88	0
	東京神宮	3	78.56	29	28	-1		Northern Guam	4	47.00	39	39	0
山の手西グループ	東京恵比寿	3	83.00	96	96	0	地区91クラブ計	Pohnpei	4	40.60	21	23	2
	東京広尾	3	78.33	20	20	0		Palau	4	72.00	15	19	4
	東京渋谷	4	67.19	40	35	-5		Guam-Sunrise	4	52.00	30	32	2
	東京六本木	4	76.00	50	51	1		Truk Lagoon	4	45.00	11	12	1
	東京世田谷	2	93.25	56	57	1		千代田グループ	78.80	多摩南グループ	80.69		
	東京目黒	3	84.50	44	47	3		銀座・日本橋グループ	78.07	多摩中グループ	87.76		
山の手西グループ	東京成城	4	85.94	22	22	0	平均出席率	京浜グループ	80.84	多摩東グループ	83.79		
	東京世田谷南	4	82.00	88	94	6		山の手東グループ	75.31	P B グループ	53.38		
	東 京 城 南	2	62.00	34	33	-1		山の手西グループ	80.30				
	東京山の手	3	87.43	60	64	4							
	東京成城新	3	82.90	31	39	8							
	東京青山	3	73.80	29	30	1							
山の手西グループ	東京自由が丘	3	84.20	21	20	-1				78.57			
	東京世田谷中央	4	83.33	22	18	-4							
	東京米山友愛	4	63.97	27	33	6							

編集後記

片倉年度のガバナー月信 第1号をお届けします。
大震災後の厳しい出だしですが、多くのロータリアンの献身的なご奉仕の話を伺いさすがロータリーと思わずにはおられません。
当委員会では前年度の堀口委員長が確立されたマナーを踏襲しながら、片倉ガバナーの強く望んでおられま

す楽しいロータリーの奉仕の姿を地区で相互理解できるよう取り組んでいく所存です。印刷4ページのほかに、グループの奉仕活動、委員会の活動報告を地区ホームページに掲載しております。是非こちらもご覧ください。

2011-12年度ガバナー月信・IT委員会 委員 望月 耕次 (東京日本橋RC)

国際ロータリー第2750地区 2011-12年 ガバナー 片倉 章雄

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2011-12 Governor Akio Katakura

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行：ガバナー 片倉 章雄(2011-12) © Akio Katakura 2011

編集・制作：ガバナー月信・IT委員会 委員長 望月 耕次 副委員長 木村 清信 副委員長 河村 勝久 副委員長 竹平 時彦
Andrew WONG 田中 廣 山見 真弘 永田 有利恵 堀口 昇治 石黒 重徳 織田 ゆり子 羽田 伊助 森本 行俊 清野 修一
浅見 省三 坂場 一隆 Brian McDERMOTT

ホームページアドレス

<http://www.ri2750.org/>